



小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 Tel.045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校

おいしい給食に感謝!

校長 こなだ ひろき 小灘 洋生

1月24日から30日までは「全国学校給食週間」でした。

学校給食は明治22年に始まり、その後全国へと広がっていきました。しかし、戦争の影響などにより一時中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に、学校給食の再開を求める声が高まり、LARA (Licensed Agencies for Relief in Asia: アジア救済公認団体) から給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月より学校給食が再開されました。

昭和21年12月24日には、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、この日が「学校給食感謝の日」と定められたそうです。しかし、12月24日は冬休み前で給食のない学校も多いため、その約1か月後の1月24日から30日までの1週間が「全国学校給食週間」とされています。

小田小学校では、この給食週間に、①好きな給食メニューアンケート ②調理員さんへの感謝のメッセージ作成(短い動画メッセージまたは寄せ書き) ③スタンプラリー(特定の人気メニューで残食が少なかった場合にスタンプをもらえる取り組み)の3つに、全校で取り組みました。

また、給食集会として、給食委員会のみなさんが、バランスよく食べることの大切さや給食クイズ、アンケート結果のまとめを動画にして発表してくれました。ちなみに、人気メニューランキングは、1位「揚げパン」、2位「から揚げ」、3位「揚げぎょうざ」でした。私の好きなカレーライスは4位でした。

学校給食には、一から手作りしているものも多くあります。人気メニューの揚げパンは、パン自体は工場で作られていますが、実際に揚げているのは学校の給食室です。また、カレーライスのルーも、給食室でカレー粉を炒めるところから作っています。このように、手間をかけ、材料にも十分に気を配りながら、毎日の給食が用意されています。

また、給食が私たちのもとに届くまでには、さまざまな人の手がかかっていることも学習しました。直接感謝を伝えられる調理員のみなさんだけでなく、食材を生産してくださっている方々への感謝も決して忘れてはいけません。給食を通して、多くの人とのつながりを感じ、感謝の気持ちを持ち、自分たちの健康な体づくりにつなげていってほしいと願っています。

さて、先日行われた「二十歳の市民を祝うつどい」では、実行委員のみなさんが考えた「横浜クイズ」が出題されました。その第4問に、「横浜市立小田小学校の給食で、カレーと一緒に出てくるメニューは何でしょうか。①ラッシー ②プルーン発酵乳 ③冷凍パイ」という問題があり、正解者は多かったようです。

給食は、子どもの頃の共通体験として、いつまでも心に残るものなのでしょう。よい思い出となるよう、これからも安全に十分配慮しながら給食を提供していきたいと思えます。(正解は、ぜひお子さんに聞いてみてください。)